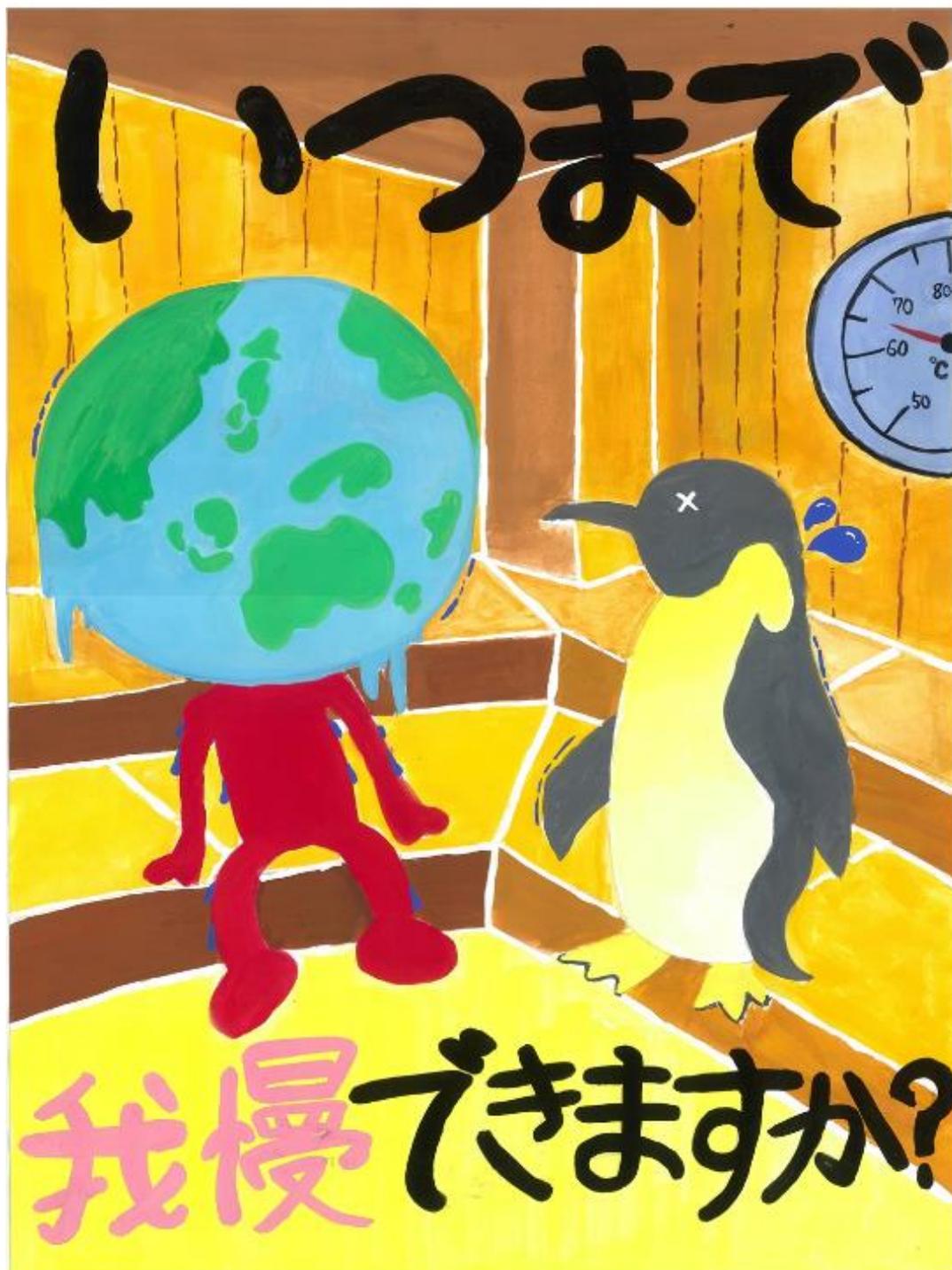


～ みんなの地球のためにチャレンジ！ ～
令和6年度カーボンニュートラル
やまがた県民運動推進大会



令和5年度カーボンニュートラルポスターコンテスト 中学生の部 グランプリ作品
上山市立北中学校3年 竹内 希華さん(所属・学年は受賞当時)

日時 令和6年6月5日(水) 午後2時～午後4時30分
場所 ホテルメトロポリタン山形 4階「霞城」

カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議



カーボンニュートラル
やまがた

< 目 次 >

挨拶	1
プログラム	2
「みんなの ^{あす} 地球のためにチャレンジ！ カーボンニュートラルやまがた県民運動」推進宣言	3
「みんなの ^{あす} 地球のためにチャレンジ！ カーボンニュートラルやまがた県民運動」について	4
記念講演	7
カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議設置要綱	8
カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議構成団体名簿	9

挨拶



本日は、御多忙のところ「令和6年度カーボンニュートラルやまがた県民運動推進大会」に御出席いただき、誠にありがとうございます。

本日御参加の皆様におかれましては、日頃より本県の地球温暖化対策の推進につきまして、多大なる御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、近年における自然災害の頻発化・激甚化や、夏の酷暑による熱中症リスクの高まりなど、地球温暖化は私たちの生活に様々な影響を及ぼしており、その対策は、まさに待ったなしの状況にあります。

こうした中、県では、政府に先駆けて令和2年8月に、2050年までに温室効果ガス実質排出ゼロを目指す「ゼロカーボンやまがた2050(ニーゼロゴーゼロ)」を宣言し、令和4年5月には、皆様と一緒に脱炭素アクションに取り組む「カーボンニュートラルやまがた県民運動」を開始しました。

さらに、本県の脱炭素社会づくりの方向性を示す「山形県脱炭素社会づくり条例(愛称:さくらんぼ未来の地球を守る条例)」を昨年4月に施行し、行政と県民・事業者の皆様が一丸となった取組みを推進しているほか、本年3月には、カーボンニュートラル実現の一翼を担うエネルギーとして期待される水素の利活用を推進していくため、「山形県水素ビジョン」を策定するなど、日々進化する新たな分野にも積極的にチャレンジしていくこととしております。

私たちが暮らす、「豊かで美しい山形県」を未来に引き継いでいくためには、一人ひとりが、「自分ごと」として、今、行動しなければなりません。

子ども達の未来のため、地球のため、このふるさと山形県のためにも、我々県や市町村、県民、事業者の皆様の総力を結集し、2050年までの脱炭素社会の実現に取り組んでまいりましょう。

結びに、本日の大会を契機として、本県のカーボンニュートラルの実現に向けた取組みの一層の充実・強化が図られますとともに、本日御参会の皆様の方々の御健勝と御活躍を祈念申し上げ、挨拶といたします。

令和6年6月5日

山形県知事 吉村 美栄子

プログラム

【午後2時～午後4時30分】

1 開 会

2 挨拶

3 来賓祝辞

4 説 明 「みんなの^{あす}地球のためにチャレンジ！
カーボンニュートラルやまがた県民運動」について

5 取組み発表 国立大学法人山形大学

6 表 彰 山形県環境保全推進賞

----- 《 休 憩 》 -----

7 記念講演
演 題 水素エネルギー社会実現に向けて

講 師 東京大学先端科学技術研究センター教授 河野 龍興 氏

8 閉 会

あす
みんなの地球のためにチャレンジ!
カーボンニュートラルやまがた県民運動推進宣言

私たちのふるさと山形県は、数多くの秀麗な山々、母なる最上川や日本海、ブナの天然林をはじめとする豊かな緑、清らかな水やきれいな空気など、美しく豊かな自然に恵まれています。

一方、近年、地球温暖化による気候変動は、人々に深刻な影響を及ぼし、洪水や干ばつが世界各地を襲い、日本各地でも豪雨や土砂災害が頻発・激甚化し、甚大な被害が出ています。

私たちが暮らす、この山形県も例外ではありません。

地球温暖化は、人間の活動がその原因とされています。温室効果ガスの排出量をできる限り削減したうえで、森林が吸収する量と均衡させ、実質ゼロにする「カーボンニュートラル」の実現が求められています。

私たちが暮らす、「豊かで美しい山形県」を未来に引き継いでいくために、私たちは、今、行動しなければなりません。カーボンニュートラルへの課題は多岐に渡り、その多さ、複雑さゆえに人ごとになりがちですが、自分ごととして多くの人が行動を起こせば大きな力になります。

私たち高校生は、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、環境問題を学び、自分ごととして捉え、様々なアクションにチャレンジし、その輪を周りの人にも広げていきます。

私たち若者は、時代の担い手としての自覚と責任感を持ち、果敢な行動力で自らが先頭に立ち、カーボンニュートラルへの取組みは、我慢や負担ではなく、質の高い暮らしにつながるものと意識を変え、カーボンニュートラルアクションに積極的に取組むとともに、学校・家庭・地域のかけはしとなり、カーボンニュートラルの実現を目指します。

私たち事業者は、経済と環境の両立の理念に立ち、県内企業が協力しながら、企業活動のあらゆる分野にカーボンニュートラルの考えを取り込み、企業・事業者の側から地球環境を創造し、新たな環境関連の事業化を図るなどにより、「グリーン成長」を実現します。

私たち行政は、気候変動に立ち向かうため、温室効果ガスの排出削減に努めるとともに、住民サービスやインフラの整備などに脱炭素の視点を取り入れ、気候変動対策に関する緩和策と適応策に総合的に取組み、「ゼロカーボンやまがた 2050」の実現を図ります。

私たちは、みんなの明日のため、地球のため、相互に連携・協働しながら、総力を結集し、一丸となって「ゼロカーボンやまがた 2050」の実現に向け取り組むことを、ここに宣言します。

令和4年5月31日

カーボンニュートラルやまがた県民運動推進



「みんなの地球のためにチャレンジ！ カーボンニュートラルやまがた県民運動」について

○山形県内の温室効果ガス削減率

H25年度
(基準年)

H29年度
▲16.4%

R2年度
▲25.8%

R12年度(目標)
▲50%

R32年度(目標)
▲100%

1. カーボンニュートラルやまがた県民運動

(1) 概要

県民一人ひとりが身近なところから、できることからカーボンニュートラルに向けたアクションにチャレンジし、「豊かで美しい山形県」を県民総ぐるみで将来の世代に継承していく運動

(2) 推進体制

令和4年に、県民運動の推進組織として「カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議」を設立

(3) カーボンニュートラルやまがた県民運動推進大会

令和6年度は6月5日(水)に開催



令和5年度の県民運動推進大会

県民運動の取組項目

- かえる** : 意識を変える、道具を換える、電気を替える、行動を変える
- つくる** : エネルギーを創る、地域活力を作る
- かかわる** : 自分ごととして積極的に参加する



構成団体(179団体)

- 経済団体
- 消費者団体
- 青年・婦人団体
- 産業団体
- 運輸・交通団体
- 建設・建築団体
- 電力・燃油団体
- 学校・PTA
- マスコミ
- 県・市町村
- ...



県民に
対する普及啓発

脱炭素に向けた
具体的なアクションを
後押しする事業

県民
主体的な
脱炭素の取組み

◎スケジュール



「みんなの地球のためにチャレンジ！ カーボンニュートラルやまがた県民運動」について

2. 県民運動の主な事業

かえる

やまがた省エネ健康住宅(※)・再エネ設備パッケージ補助金(4月~2月) (県土整備部と連携)

・年間のエネルギー使用量の収支をゼロとする住宅を新築する場合、その経費の一部を補助

- 補助対象
やまがた省エネ健康住宅と併せて太陽光発電設備等を設置する新築住宅
- 補助金額 最大200.2万円

※やまがた省エネ健康住宅
最も寒い時期の就寝前に暖房を切って翌朝暖房を稼働させない状況でも室温が10℃を下回らない断熱性能と気密性能を持つ住宅



省エネ住宅普及啓発セミナー(7月~2月)

・省エネ住宅のメリットを学ぶ県民向けセミナーと、省エネ住宅を建築する上で必要となる施工方法等を学ぶ研修会を開催



県民向け



事業者向け

New

「置き配」の推進(夏~予定)

・家庭への宅配物の再配達削減に向け、宅配ボックスの購入支援による「置き配」の推進



画像はイメージ

New

企業向け脱炭素経営セミナー(秋予定)

・温室効果ガス排出量可視化の手法や、中小企業での取組事例、企業の省エネや再エネ導入に対する支援制度を紹介し、脱炭素経営への理解を深めるセミナーを開催。



2. 県民運動の主な事業

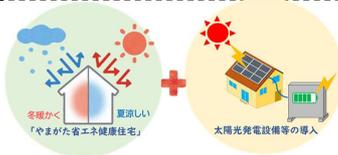
つくる

【再掲】やまがた省エネ健康住宅(※)・再エネ設備パッケージ補助金 (4月～12月) (県土整備部と連携)

・年間のエネルギー使用量の収支をゼロとする住宅を新築する場合、その経費の一部を補助

- 補助対象
やまがた省エネ健康住宅と併せて太陽光発電設備等を設置する新築住宅
- 補助金額 最大200.2万円

※やまがた省エネ健康住宅
最も寒い時期の就寝前に暖房を切って翌朝暖房を稼働させない状況でも室温が10℃を下回らない断熱性能と気密性能を持つ住宅



やまがた未来くるエネルギー補助金(5月～)

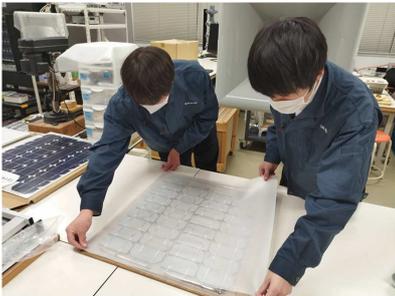
・家庭や事業所が再生可能エネルギー等設備を導入する場合、その経費の一部を補助

- 補助対象設備
 - ・蓄電池設備
 - ・木質バイオマス燃焼機器等



カーボンニュートラルチャレンジ応援補助金(6月～7月)

・カーボンニュートラル大使が実施するカーボンニュートラルにつながる活動に対し補助金(上限5万円/団体)を交付



※カーボンニュートラル大使
カーボンニュートラルの実現に向けた取組みを実践している
県内小・中・高校生のグループ10団体(令和5年度)

2. 県民運動の主な事業

かかわる

小学生向け学習教材の配布(7月～8月)

・子供の頃から地球温暖化の理解を深め、「自分ごと」として自ら行動できる環境人材の育成のため、小学生向けにわかりやすく脱炭素化の取組みを解説したガイドブックを作成



カーボンニュートラル大使啓発動画作成(9月～2月)

・カーボンニュートラル大使が取り組んでいる内容を動画で配信



カーボンニュートラル標語・ポスターコンテスト(6月～9月)

・「カーボンニュートラル実現への思い」を標語やポスターで表現した作品を県民から募集

令和5年度 グランプリ(標語)

令和5年度 グランプリ(ポスター)

小学生の部	「もったいない」身近なことからエコ活動
中学生の部	聴きとろう 泣いている地球のSOS
一般の部	エコ活で 地球にみんなで 恩返し



学生環境ボランティアによる普及啓発(6月～)

・県内の大学生等を学生環境ボランティア(やまかボ・サポーター)として登録。イベントへのブース出展や出前講座を実施





○「山形県脱炭素社会づくり条例」で掲げる『新技術』の一つとして、山形県では、水素エネルギーの利活用を推進していくこととしており、本県の目指すべき姿と取組みの方向性を示す『山形県水素ビジョン』を令和6年3月に策定しました。

水素の有用性と本県で取り組む意義

- 脱炭素化**
 - ① CO₂を排出しないクリーンなエネルギー ⇒ カーボンニュートラルの実現
- エネルギーの安定供給**
 - ② 再生可能エネルギーから製造し貯蔵可能 ⇒ 豊富な地域資源を活かした再エネの活用
- 経済成長**
 - ③ 幅広い分野での活用を通じた産業振興 ⇒ 県内経済の活性化

本県が目指す姿

山形県の健全で恵み豊かな環境を守り、将来の世代に継承していくため、豊富な再生可能エネルギーなどの地域資源を活用し、水素を「ゼロカーボンやまがた2050」実現の一翼を担うエネルギーとして利活用を推進することで、地域におけるカーボンニュートラルと持続的な成長が両立(GX)する社会の実現を目指す

山形県における水素社会のイメージ(社会全体)



本県における水素社会実現に向けた取組みの方向性

- ◇方向性Ⅰ：県民の水素に関する理解促進**
 - ① 県民への普及啓発・学習機会の確保
 - ② 県内事業者向け勉強会等の開催
- ◇方向性Ⅱ：県民生活に根差した水素の利活用推進**
 - ① 電力・熱需要の脱炭素化とレジリエンスの強化
 - ② 運輸部門における活用
 - ③ 水素を活用したエネルギーの利用(CO₂のリサイクル)
- ◇方向性Ⅲ：水素の導入拡大を通じた県内産業の振興**
 - ① 水素を活用した企業活動における脱炭素化と競争力強化
 - ② 県内企業の水素関連ビジネスへの参入促進
 - ③ 県内産業の振興に向けた産学官金連携の促進
- ◇方向性Ⅳ：地域資源を活用した水素供給体制の整備促進**
 - ① 本県の豊富な地域資源を活用した水素の製造・利活用
 - ② 水素ステーションの整備促進

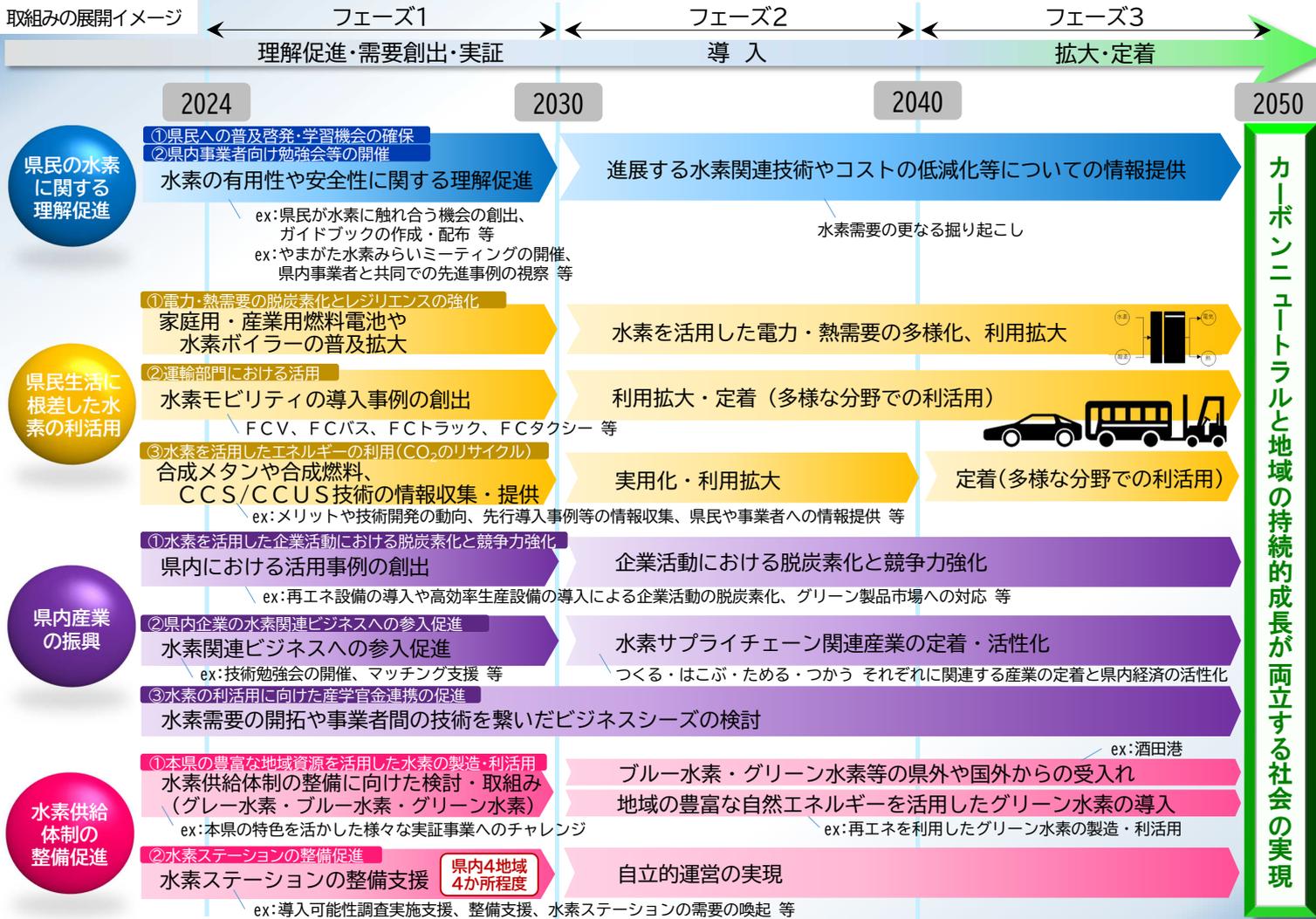
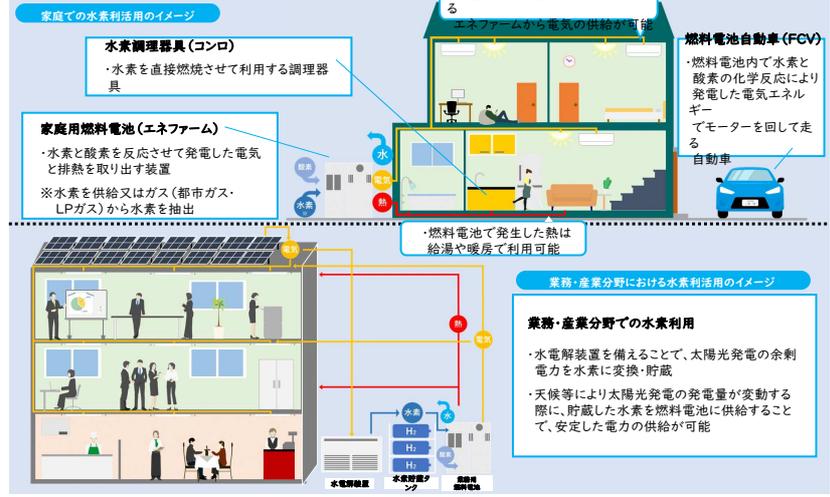


【「山形県水素ビジョン」県ホームページURL】

<https://www.pref.yamagata.jp/050015/hydrogen/yamagatah2vision.html>



山形県における水素社会のイメージ(県民生活)



カーボンニュートラルと地域の持続的成長が両立する社会の実現

記 念 講 演

演 題

「水素エネルギー社会実現に向けて」

講 師

こうの たつおき
河野 龍興 氏



東京大学先端科学技術研究センター教授

【講師略歴】

- 1993年 株式会社東芝 研究開発センター
- 2004年 東北大学金属材料研究所 客員助教授
- 2005年 東北大学大学院環境科学研究科 非常勤講師
- 2009年 株式会社東芝 社会インフラシステム社 参事
- 2012年 東芝アジア・パシフィック社 水研究センター センター長
- 2014年 株式会社東芝 次世代エネルギー事業開発プロジェクトチーム 担当部長
- 2016年 東北大学金属材料研究所 特任教授
- 2019年 東京大学先端科学技術研究センター 特任教授（兼任）
- 2022年 東京大学先端科学技術研究センター 教授（～現在）

【専門分野】

水素エネルギー技術：水素製造、水素貯蔵、燃料電池
蓄電池：ニッケル水素電池、リチウムイオン電池
水処理：工業排水処理、上水・下水処理、海水淡水化

令和6年3月に県が策定した「山形県水素ビジョン」の策定検討委員として参画

カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議 設置要綱

(目的)

第1条 県民一人ひとりが環境問題を「自分ごと」として捉え、身近なところから、できることから温室効果ガスの削減と吸収源対策に主体的かつ積極的に取り組む「カーボンニュートラルやまがた県民運動」(以下「県民運動」という。)を推進することにより、2050年までに温室効果ガス排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンやまがた2050」及び「第4次山形県環境計画」に掲げる「持続的発展が可能な豊かで美しい山形県」の実現に寄与することを目的として、「カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議」(以下「推進会議」という。)を設置する。

(事業)

第2条 推進会議は、前条の目的を達成するために次に掲げる事業を行う。

- (1) 県民運動の推進に関すること
- (2) 県民運動の広報に関すること
- (3) その他、目的達成のために必要なこと

(組織)

第3条 推進会議は、本会要綱の趣旨に賛同する団体(以下「構成団体」という。)の代表者で構成し、前条に掲げる事業とともに、それぞれの団体として、カーボンニュートラル達成に向け自らの取組みを積極的に行うものとする。

(会長等)

第4条 推進会議に会長及び副会長を置く。

- 2 会長は山形県知事とし、副会長は会長が指名する。
- 3 会長は、会務を総理し、推進会議を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(県民運動推進大会)

第5条 県民運動推進大会は、必要に応じ開催する。

(事務局)

第6条 推進会議の事務局は、山形県環境エネルギー部環境企画課に置く。

(補則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、推進会議の運営に関して必要な事項は、会長が定める。

附則

- 1 この要綱は、令和4年5月11日から施行する。

カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議

構成団体名簿

◎会 長：山形県知事 吉村美栄子 氏

◎副 会 長：山形県環境保全協議会会長 千歳 毅 氏（株式会社千歳建設 代表取締役社長）
市長会長 佐藤 孝弘 氏（山形市長）、町村会長 鈴木 浩幸 氏（朝日町長）
公益社団法人日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会長 三浦 真守 氏

【構成団体】

消費・婦人・青年

- ・山形県生活協同組合連合会
- ・山形県婦人連盟
- ・山形市消費者連合会
- ・公益社団法人日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会

産業・経済・労働

- ・山形県環境保全協議会
- ・山形県工業会
- ・山形経済同友会
- ・公益財団法人やまがた産業支援機構
- ・一般社団法人山形県銀行協会
- ・一般社団法人山形県経営者協会
- ・一般社団法人山形県産業資源循環協会
- ・山形県商工会議所連合会
- ・山形県商工会連合会
- ・山形県商店街振興組合連合会
- ・山形県電気工事工業組合
- ・東北電気保安協会山形事業本部
- ・山形県電機商業組合
- ・山形県中小企業団体中央会
- ・山形県社交飲食業生活衛生同業組合
- ・山形県生活衛生同業組合団体協議会
- ・山形県理容生活衛生同業組合
- ・山形県旅館ホテル生活衛生同業組合
- ・山形県遊技業協同組合
- ・日本労働組合総連合会山形県連合会
- ・山形県観光物産協会

運輸・交通・通信

- ・公益社団法人山形県トラック協会
- ・一般社団法人山形県ハイヤー協会
- ・一般社団法人山形県バス協会
- ・東日本旅客鉄道株式会社山形支店
- ・山形鉄道株式会社
- ・一般社団法人日本自動車販売協会連合会山形県支部
- ・一般社団法人日本自動車連盟山形支部
- ・一般社団法人山形県指定自動車教習所協会
- ・山形県自転車軽自動車商協同組合
- ・一般社団法人山形県安全運転管理者協会
- ・山形県サイクリング協会
- ・東日本電信電話株式会社山形支店

建築・建設

- ・一般社団法人山形県建設業協会
- ・一般社団法人山形県建築協会
- ・一般社団法人山形県建築士会
- ・一般社団法人山形県建築士事務所協会
- ・山形県サッシ・ガラス協同組合
- ・公益社団法人全日本不動産協会山形県本部
- ・公益社団法人山形県宅地建物取引業協会

電力・燃油

- ・東北電力株式会社山形支店
- ・一般社団法人山形県LPGガス協会
- ・山形県コミュニティーガス協会
- ・山形県石油商業組合・山形県石油協同組合
- ・山形県都市ガス協会
- ・株式会社やまがた新電力
- ・おきたま新電力株式会社
- ・酒田港風力発電事業者協議会
- ・やまがた自然エネルギーネットワーク

農林

- ・山形県農業協同組合中央会
- ・山形県森林組合連合会
- ・公益財団法人やまがた森林と緑の推進機構

教育・学校関係

- ・山形県PTA連合会
- ・山形県高等学校PTA連合会
- ・山形県高等学校長会
- ・山形県中学校長会
- ・山形県連合小学校長会
- ・国立大学法人 山形大学
- ・国立大学法人 山形大学カーボンニュートラル研究拠点
- ・公立大学法人 山形県立保健医療大学
- ・山形県公立大学法人（県立米沢栄養大学・県立米沢女子短期大学）
- ・学校法人東北芸術工科大学 東北芸術工科大学
- ・学校法人東北公益文科大学 東北公益文科大学
- ・学校法人富澤学園 東北文教大学
- ・独立行政法人国立高等専門学校機構 鶴岡工業高等専門学校
- ・一般社団法人山形県歯科医師会立 山形歯科専門学校
- ・公益社団法人 山形県私立学校総連合会
- ・学校法人明正学園 山形明正高等学校
- ・学校法人山本学園 惺山高等学校
- ・学校法人富澤学園 東北文教大学山形城北高等学校
- ・学校法人日本大学 日本大学山形高等学校
- ・学校法人東海山形学園 東海大学山形高等学校
- ・学校法人羽黒学園 羽黒高等学校
- ・学校法人山形電波学園 創学館高等学校
- ・学校法人新庄学園 新庄東高等学校
- ・学校法人稚野学園 米沢中央高等学校
- ・学校法人天真林昌学園 酒田南高等学校
- ・学校法人天真林昌学園 和順館高等学校
- ・学校法人九里学園 九里学園高等学校
- ・学校法人山形学院 山形学院高等学校
- ・学校法人齋藤学園 鶴岡東高等学校

マスコミ

- ・朝日新聞山形総局
- ・読売新聞東京本社山形支局
- ・毎日新聞山形支局
- ・産経新聞社山形支局
- ・河北新報山形総局
- ・時事通信社山形支局
- ・株式会社山形新聞社
- ・株式会社荘内日報社
- ・日本放送協会山形放送局
- ・山形放送株式会社
- ・株式会社山形テレビ
- ・株式会社テレビユー山形
- ・株式会社さくらんぼテレビジョン
- ・株式会社エフエム山形
- ・株式会社ダイバーシティメディア
- ・株式会社ニューメディア

自治体・その他

- ・山形県
- ・市町村（35）、山形県市長会、山形県町村会
- ・山形県地球温暖化防止活動推進センター
- ・各地域温暖化対策地域協議会（35）
- ・各地域エネルギー戦略推進協議会（4）

計 179 団体

あす
～みんなの地球のためにチャレンジ！～

カーボンニュートラルやまがた県民運動

カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議の取組みのほか、環境に関するさまざまな情報発信を行っています。ぜひ「いいね！」「フォロー」をお願いします！

県環境企画課

「つなぐ環境やまがた」
X(旧ツイッター)、Instagram



X



Instagram

県環境企画課

「環境情報やまがた」
カーボンニュートラルやまがた
オンライン講座動画など、環境に
関する情報を掲載！



県 HP

県公式 YouTube チャンネル

「やまがた Channel」
やまがたカーボンニュートラル大使の
活動を発信！



環境ネットやまがた
Facebook、Instagram



Facebook



Instagram

県環境科学研究センター

「つなぐ環境やまがた
通信ブログ」

